



第4回 市民活動団体交流会 報告書

日 時 平成 27 年 2 月 15 日 (日) 12:30～16:05

場 所 丸子ふれあいステーション 3 階会議室



平成 26 年度 第 11 回 丸子地域協議会



平成26年度市民活動団体交流会 次第

(平成 26 年度わがまち魅力アップ応援事業実績報告会)

開場 12:30
くわがまち魅力アップ応援事業実績報告 パネル展示・プレゼンテーション> 場所:ふれあいステーション3 階会議室
パネル展示形式発表
【実施報告団体 (H26 補助金受給団体)】 ①霊泉寺温泉自然 JUKU プロジェクト Team 若女将 ⑨「世界のレンゲツツジ園」の会 ②丸子太鼓保存会 ⑩中丸子やまびこ会 ③地域で英語！ともだち英語の会 ⑪下長瀬自治会 ④ゆうあいまるこ ⑫腰越自治会 ⑤内村っ娘の会 ⑬下和子素浪人の会 ⑥鹿教湯温泉観光協会 ⑭鹿教湯商工会 ⑦鹿教湯温泉 100 年ブランド創造プロジェクト ⑮尾野山史跡めぐり協議会 ⑧箱山城・桜ロードの会 ⑯石井樹木を守る会 (パネル展示のみ参加)
平成 26 年魅力アップ応援事業報告会 (出席の 15 団体による 3 分間プレゼンテーション)
休憩 (10 分間)
<第 4 回 丸子地域市民活動団体交流会> 場所:同 3 階会議室 (座席自由)
開会
あいさつ (丸子地域協議会副会長／交流会実行委員会座長)
意見交換 第 1 部
セッション1: 団体の発表の質疑・応答
セッション2: 活動団体同士の連携の実施や計画について (成功例・失敗例・ノウハウ等) ※テーブルごとに話し合い。アドバイス・意見を出し合う。
セッション3: 魅力アップ応援事業の制度に対する要望・改善点などについて
まとめ・総括 (交流会実行委員会座長)
閉会 16:05

第4回 市民活動団体交流会 参加団体名簿

	団体名	代表者名	報告団体	参加者数
1	中丸子やまびこ会	成澤 啓輔	○	2
2	霊泉寺温泉自然JUKUプロジェクトTeam若女将	清水 理絵	○	1
3	丸子太鼓保存会	斎藤 一生	○	2
4	下長瀬自治会	久保田 和英	○	1
5	地域で英語！ともだち英語の会	宮島 富美子	○	1
6	ゆうあいまるこ	成澤 みつ子	○	3
7	内村っ娘の会	長岡 和恵	○	2
8	鹿教湯温泉観光協会	斎藤 厚志	○	1
9	鹿教湯温泉 100 年ブランド創造プロジェクト	斎藤 明	○	1
10	箱山城・桜ロードの会	小山 一正	○	3
11	「世界のレンゲツツジ園」の会	斎藤 兵治	○	1
12	腰越自治会	宮坂 雄一	○	2
13	下和子素浪人の会	山本 進	○	4
14	SLOW-LIFE クラブ素浪人			1
15	鹿教湯商工会	牧野 勇二	○	4
16	尾野山史跡めぐり協議会	上野 昌夫	○	3
17	石井樹木を守る会	宮下 経雄	○	0
18	上田飯沼史学会	奥村 栄邦		1
19	信州国際音楽村公園バラの会	中山 康昭		3
20	中丸子自治会下組分会	中山 和夫		2
21	その他(個人・一般)			1
22	丸子地域協議会委員			12
23	丸子地域協議会事務局職員			4
	計			55



あいさつ

<丸子地域協議会 丸山かず子副会長>

会長が所用で欠席ですので、会長に代わりまして副の丸山がご挨拶申し上げます。今日はお忙しい中、皆さんにご参加いただき有難うございます。地域活動団体の皆様には、わがまち魅力アップ応援事業制度を活用いただきまして、里山の保全や地域の魅力発掘、環境美化の整備等々、丸子地域の発展に貢献いただいていることに、心より感謝を申し上げます。



丸子地域協議会では、上田市のモデル地域と致しまして、地域内分権推進の基盤であります地域経営会議を、3月の設立に向けて進めております。今後、新たな地域の特質を活かした、協働による自立した地域づくり、まちづくりが必要となってきます。その中で、参加されています皆様方は中心となって、今後活動、活躍していただくことを切望いたします。

今回の交流会が、新しい出会いや新しい事業の展開のための交流の場になっていくならば、本当にうれしい限りです。簡単ではありますが、皆様の益々のご健康とご活躍を祈念いたしまして挨拶いたします。

<丸子地域協議会交流会実行委員会 清水三枝座長>

皆さん、こんにちは。本日のこの交流会の座長の清水です。副会長からのご挨拶もございましたが、新しい地域づくりと言いますか、それぞれの地域で自分たちの足元を見つめて、何か暮らし易い生活にするために事業を起こそうとしている、また起こしていらした団体の方がお集まりです。



それぞれの地域の課題を先進的に取上げてこられた皆さんで、そういった方々が一堂に会するというのは、年に一度、ここだけでございます。皆さんの心の中にある思い、地域自慢や自分たちの活動自慢を大いにこの場で語っていただきたいと思います。それぞれのこれからの活動の知恵をここで得ていただきたい、そんな思いで毎年開催しております。今回で4回目の交流会でございます。

今までは、皆さんの情報交換の場として設定をしたのが1回目でした。2回目、3回目と開催して参りまして、去年の3回目の時にはかなり進んだ状況で、もっと連携をして丸子全域にこういった活動が広がっていくように、また、そういう根っこになったらいなという話まで出ていました。

今年の4回目、初めて参加された方もいらっしゃると思います。発展させていくということで、積極的なご意見をいただけますことを期待いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。どうぞ、忌憚の無い意見をお出しいただき、和やかな時間としていただきたいと思います。

交流会 ざくばらんな意見交換をおこないました

テーブルごとの主な発言やご意見

セッション1：魅力アップ応援事業のパネル展示及びプレゼンテーションに関して



- ・ シャクナゲの育て方がむずかしい。今年、つぼみが落ちてしまったという事例について、2団体からレンゲツツジ、シャクナゲの育て方の助言。粘土質は適さない。排水を良くすることがよい等のノウハウのアドバイス。
 - ・ 丸子太鼓保存会から、ワークショップ開催のお知らせ。会員獲得のための努力等。育成についての取り組み。小学校や保育園へ出張して紹介。色々な場所へ出かけて活躍の場を広げたい。幅広い年齢層の希望者への体験会も計画。
 - ・ 年配の市民活動への取り組みの心意気。自然や地域への思いでやっている。若い方々の取り組みの思いを聞きたい。
- など



セッション2：活動団体同士の連携の実施や計画について（テーブルごとに討論）



<テーブル1：花木・景観等の活動団体>

- ・ このテーブルの参加者は鹿教湯の方が多い。また、花や植栽の事業が多い。地域のほかの団体との連携は今のところ無い。鹿教湯の事業では、修学館高校と長野大学、病院等と協力して事業をしている。
- ・ 鹿教湯方面の団体が多いので、団体間の連携はとりやすいのではないかな。
- ・ 花のノウハウについて、いろいろな意見が出た。鹿教湯を花のまちにしたい。
- ・ セラピー公園、オリジナル色を出した公園。マウンテンバイクコースの整備など。
- ・ 信州国際音楽村バラ園、6～7月バラ祭。講演会・講習会あり。
- ・ セッション1の若い人の取組みの思いについて。

自営で時間のとり方が自由に出来ること。趣味と仕事を兼ねて事業に参加。ボランティアから始まった事業でも、利益事業に繋がっていないと継続が困難。などの意見。

- ・ 長生きをしたければユリの交配をすればいいとのユニークな意見。花が咲くまで7年もかかるから死んではいけないよという冗談も。



<テーブル2：花木・景観等の活動団体>

- ・ 補助金が切れてしまうと、なかなか継続しにくい。資金があればやるが、なくなったらやめるみたいになってしまう。自分の出来る範囲の中での継続が大事。
- ・ どの様に継続したらいいか。中心にいる人達が仕掛けづくりをして多くの方に参加してもらう。点で行っている事業を、線、やがては面としていくように考える。
- ・ 活動の地区に、活動内容の表示板を設置するのはどうか。
- ・ 取組みの中では地域とのかかわりを強めたいという気持ちが強い。近隣の人達との付き合いが深められるメリット。
- ・ 昨年の交流会にも出たが、花マップを作ったらどうか。是非、実現してほしい。
- ・ 地域の高齢化により、後継者をどうしよう。



<テーブル3：歴史・景観等の活動団体>

- ・ このグループは歴史的なことが多く出された。尾野山は歴史的なことも沢山ある。地域を歩くと発見もある。
- ・ 中丸子の方からは、地元の観音像など、魅力アップで継承して行きたい。皆さんの体験談を伺いに来ましたとのコメント。
- ・ 飯沼自治会で管理している歴史的に貴重な古文書が沢山ある。魅力アップ事業では是非、応援して欲しい。要請があれば一般公開も検討。保存して文化財としていきたい。
- ・ 「真田丸」の放送に併せて丸子のPRを！木曾義仲もPR材料。是非取り入れて。
- ・ 多文化交流にも参加した。
- ・ 親の世代からの長い歴史がある太鼓保存会。継続のために、他県へも色々なアピールを模索。継続のために会員を募っている。
- ・ 中丸子ベルシティでのリンゴ祭りをもう一度にぎやかにして、地域を元気にしたい。



<テーブル4：食・交流等の活動団体>

- ・ 第4テーブルは、主に食とか交流に係る活動団体のテーブル。
- ・ 会員の高齢化。後継者についてどうしたらよいか。内村っ娘の会は、今後若い方々の活動をお手伝いする形で緩やかにバトンタッチしていくことも考えている。
- ・ 地域の問題点について発想を転換して、地域の恵みに視点をとる。
- ・ ゆうあいまるこさんは、ブラジルからのお子さんのサポート。県と協力してバイリンガルの方の養成へ活動を広げていく。中国語、ポルトガル語、タイ語、英語など。
- ・ 地域で英語！英語の必要性について、地域に根ざした活動をしたい。
- ・ 下和子素浪人の会、遺跡について活動を広げている。女性や子どもの参加を。
- ・ ハード事業と異なり、緩やかに活動していくのが続けやすい秘訣。



(座長) 地域の老人会のレクリエーションに地元の鹿教湯を選んだという事例を紹介。セラピー公園でのマレットゴルフ、温泉での宿泊、翌日の内村っ娘の会に用意いただいたお昼の食事。大変喜ばれたというケース。事業としての連携とは別に、各地に芽生えている丸子の魅力を再発見し、丸子を楽しむという繋がり方もある。

セッション3：魅力アップ応援事業の制度についてと全体的討論



<テーブル4>

- ・ 魅力アップ応援事業の補助金は、申請も他に比べ簡単で採択され易い。
- ・ 魅力アップ応援事業以外の補助金についての紹介も、まとめて案内されると助かる。

<テーブル3>

- ・ 木曾義仲を含めた「真田丸」との連携。歴史と遊歩道整備、その情報の共有。
- ・ 魅力アップ応援事業制度、目的の誘致に行くメンバーの宿泊代などをみてほしい。

<テーブル2>

- ・ こちらのテーブルからは、連携を是非にとの声があった。去年も出たが実現できなかった。
- ・ 団体の代表者の名前や電話番号あると、交流や連携に役立つ。
- ・ テーブルごとに、連携の世話人を決めてしまうといい。その方が、連携の準備会を立ち上げ、事務局と連携して進めていくのがいい。どんな形で皆さんにアピールして提供していくか。具体的にやりたい。
- ・ このテーブルから1名、連携の世話人に手を挙げてもらった。他のグループの皆さんも賛同を。
- ・ 高齢化の問題と資金面での問題。5年で200万円の補助金ですが、出来ればまじめにやっている継続グループには7年～10年と補助をつけていただきたい。協議会へバックアップをお願いしたいという意見あり。

<テーブル1>

- ・ 音楽村バラ園の会の皆さんからは、ロケーションを生かしたバラ園に自信があるとのこと。観光客に是非ご覧いただきたい。PRがなかなかできていない。
- ・ フェイスブック等でつながる方法もあるとの提案あり。手軽に更新できる。
- ・ 行政パンフではなく、地域の魅力を載せた観光パンフレットの作成については消極的。
- ・ マップの作成はどうか。
- ・ 個々に出ている魅力アップ応援事業の活動を、行政のバックアップにより、つなげる方向性も必要ではないか。
- ・ ネックになるのは、会員の高齢化。継続の難しさ。会員募集は行っているが、勤めている方の参加は難しい。賛助会員やオーナー制度も取り入れている。小中学生をもっと地域の活動に取り入れていく方法はないか。



アチーブメント:まとめと総括(座長)



(座長) 過去3回の交流会に加えて、今日も様々なノウハウや知恵を披露いただいた。出来れば、今やっているまちづくりの中に活かしたい。もっともっと裾野が広がっていくために、例えば、**連携のための連絡会・準備会**といったものを発足させることも出来るのではないか。そのなかで、より一層の知恵を出し合える。活動団体同士の交流。その交流を通して、自分のところになかったものを、また、まち全体を再認識していく。今、そういう大切な時期になっていると思う。

出来るだけ負担にならないように、だけど皆で知識を共有しあう。例えば、「花マップ」。花マップを作り、それに合せて「まりんこ号」に乗って丸子の中をお花見しようではないかと。それも一つの考えではあります。そうして、丸子全体が繋がっていく。ふるさとを見直していく。そういった事業に進んでいくととてもうれしく思います。もしかすると、後輩も育っていくかもしれない。暮らしやすいまちを創るという中で、後継者も育っていくということを期待したい。

第2テーブルから、中丸子やまびこ会の成澤代表が、連携の世話人に手を上げていただきました。成澤さんをお願いしまして連絡会などをつくる準備をしていく。その際には、多くの皆さんにご参加をいただきたい。集まれる方々が集まるという緩やかな活動体であることを認識いただいて、ご協力をいただきたい(一堂、拍手。)

今回の交流会は、一つには、より暮らしやすい地域づくりのために何ができるのかを考えましょう。そのきっかけになりますようにというのが一つ目の大きな目的。二つ目に、活動ごとにマップに書き入れきれないくらいに、魅力アップ応援事業が広がっていきますようにということ。三つ目には、更にわがまちの魅力を共有しあい、連携して新たな事業を起こしていきたい。そういうお力になりたいという地域協議会委員の思いを込めて、この交流会を毎回開かせていただいています。本日はその意味で、深くいろいろなお話を伺うことができました。

